

10年間の歩み

(2012年～2022年)

特定非営利活動法人
研究機構ジオセーフ

名称 特定非営利活動法人 研究機構 ジオセーフ
設立 2012年12月26日

組織 役員 理事長1名、副理事長1名、理事3名、監事1名
会員 9名(10名) 総計15名(現在は16名)

理事長 善 功企、副理事長 安福 規之、
理事 笠間 清伸、瀬崎 満弘、矢ヶ部 秀美
監事 江頭 和彦 6名

背景/趣旨

我が国は自然災害のリスクが高い。一般市民は地滑り等リスク情報の提供が分かりやすく提供されていない。私たちは地盤災害等に関連した分かりやすい防災情報の提供、災害の防止、減災に関する技術・工法の研究、これらの評価や普及に関する活動を行い、地域住民や働く人々の安全と安心を向上させていきたいと考えて設立したものである。

研究機構ジオセーフの業務実績報告

【収益事業と調査業務】

- ①2014年度(沿岸センター受託業務)
地盤改良工法その他に関する資料収集・整理業務
- ②2015年度(沿岸センター受託業務)
港湾構造物の設計、施工に関する資料収集・整理業務
- ③2016年度(沿岸センター受託業務)
九州地方整備局管内技術課題検討業務に係る空洞化補修技術に関する資料整理業務
- ④2017年度(自主調査)
軍艦島等世界遺産状況調査
- ⑤2019年度(自主調査)
熊本歴史遺産と地震からの復興調査
- ⑥2021年度
平成29年7月九州北部豪雨地盤災害からの復旧・復興状況の調査

【講座、報告会、論文発表】

- ①2014度
市民講座(九大と主催)
- ②2015～2022年
海域港湾空港技術報告会
(九地整局・九大と共催)
- ③2014～2019度(参加)
 - ・地盤工学会九州支部で講演
 - ・海洋開発シンポ、学術論文発表での発表と参加、
 - ・九州国土交通研究会への参加
 - ・九州豪雨・佐賀県道路対策委員会参画、広島県技術講習会の講師
- ④2015度
ホームページ開/技術情報提供
NPO法人研究機構ジオセーフで検索

軍艦島等調査報告



軍艦島アパート補修

世界遺産保全へ応急措置

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の長崎市の構成施設、端島炭坑重工業(重工業)の跡地(軍艦島)について、同市は12日、大正期の鉄員アパート「16号棟」など3カ所の応急措置に新年度着手する方針を明らかにした。1974年の閉山後、生産施設や居住施設の補修、補強は初めて。

【15、24面に関連記事】
 着手するのは他に、明治期の炭鉱施設「第3豎坑捲座跡」と小中学校舎の「70号棟」。市の専門委員会が軍艦島を含む国史跡「高島炭鉱跡」の整備活用計画を3月に策定する予定だが、市は3カ所が緊急の措置を要すると判断。文化庁などと協議し、新年度一般会計当初予算案に事業費2千5百万円を計上した。

第3豎坑捲座跡は一部の壁面が残っており、補強して倒壊を防ぐ。鉄筋コンクリート9階建ての16号棟は、部分的に補修し劣化を食い止める。70号棟は露出した基礎部分を埋め戻すため実施設計に着手する。世界遺産推進室は「これからは構成資産の保全に力を入れる。今回はその一歩」としている。

同予算案には、軍艦島資料館(野母町)を旧野母崎福祉保健センター内に移設したり、高島北浜坑跡高島町の近くに操業当時を紹介する機軸を設置したりする費用も盛り込んだ。

(原口司)

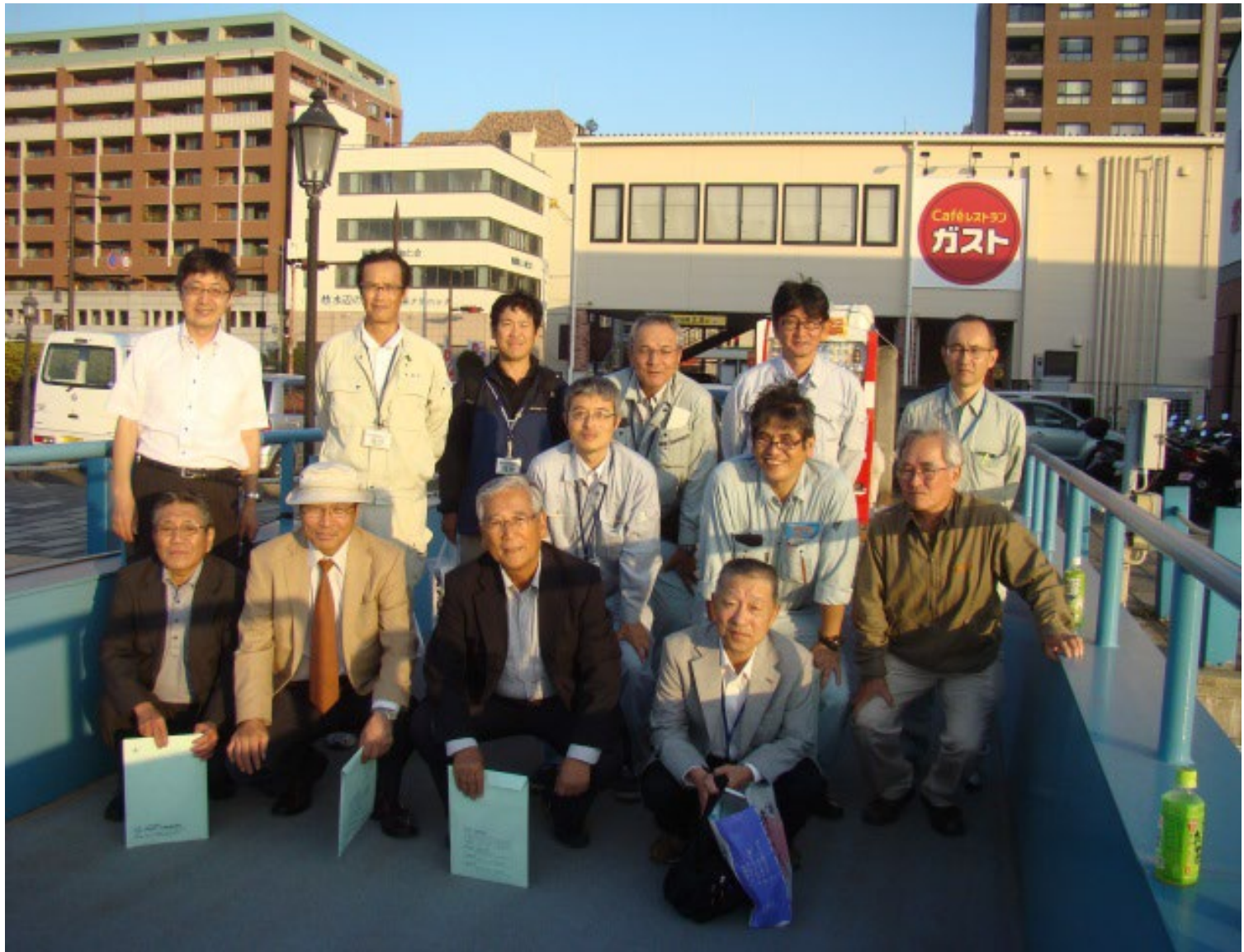
紙面編集 後藤敦

長崎市新年度予算案

補修が行われる場所は16号等、70号等、第3豎坑捲座跡の3箇所です。

端島小中学校の基礎部分を埋め立てた時の写真です。





熊本地震と土木遺産等復興調査





阿蘇大橋全面開通「復旧完了」





南阿蘇鉄道全線復旧カウントダウンプロジェクト
2023年夏、全線復旧。

南阿蘇待望の全線復旧

南阿蘇鉄道全線復旧に向けて磨きをかけてお待ちしています!

MINAMIASO

開通前にしかできない貴重なイベントを体験

10/2(日) 10:00~10:30
キックオフイベント
会場: 高森駅



- プロジェクトスタート出発式
- 高SPO高森収養園による演奏
- スタンプラリー受付開始(10/31まで)

10/9(日) 11:00~20:00
白川水源駅de緑日・夜市
会場: 南阿蘇白川水源駅



- 南阿蘇の美味しい食べ物と緑日開催
- 子どもヤマメつかみ取り
1回目13:00~ 2回目15:00~
(各自先着50名、小学生以下・参加無料)
- 巨大網罟と漁漁夜中
- フィナーレはお月見花火
- 南阿蘇鉄道全線復旧前の南阿蘇の美しい田舎風景を堪能

10/9(日) 14:00~17:00
お月見と花火の特別列車運行
会場: 南阿蘇鉄道(17:30高森駅集合)
花火: 南阿蘇白川水源駅付近



KOORUアール熊本特別南阿蘇スペシャル弁当を噛みながらお月見し、さらに新秋の田舎に打ちあがる花火をトロッコ列車で堪能。

- 定予約20組限定(1組最大4名、先着)
- 乗車料3,500円
- 18時、高森駅出発 ※夜行列車10/19(土)以降

お問合せ・お申込みは
南阿蘇鉄道(南阿蘇旅行) TEL: 0967-62-0056

10/22(土)・23(日) 10:00~18:00
くまもとレイルウェイフェス出展
会場: 熊本駅前アミュプラザ



熊本県内の鉄道会社が大量集結!
鉄道製品の特別販売会や沿線地域の魅力発信!
JR九州ミニトレレインもやってくる!

10/9(日) 11:00~17:00
南阿蘇オールスターマルシェ祭
会場: 高森町観光交流センター ゲストステージもあるよ!



南阿蘇の魅力やもてなしが大集合! 全線復旧を前に南阿蘇を盛り上げます。ワークショップやマルシェで南阿蘇を堪能!

10/30(日) 11:00~17:00
南阿蘇鉄道全線復旧カウントダウンプロジェクト グランドフィナーレ
会場: 高森町観光交流センター



お問合せ / 南阿蘇鉄道全線復旧実行委員会 TEL: 0967-62-2200
協力: 高森町、南阿蘇村、高森町観光協会、みなみあそ観光局

10/9(土)~10/31(月)
南阿蘇鉄道スタンプラリー
会場: 南阿蘇鉄道全駅
スタンプを集めて豪華賞品もゲット!
詳しくは裏面をご覧ください



096K 熊本歌劇団

通潤橋と導水管の止水材としての漆喰







平成 29 年 7 月九州北部豪雨 地盤災害からの復旧・復興状況の調査



写真-2.7 ブロック積み仮復旧堰堤 前面



写真-2.8 ブロック積み仮復旧堰堤 背面



写真-1.8 「法枠工+アンカー工」による抑止工



写真-1.9 押さえ盛土工の解説(現場設置)



写真-1.10 押さえ盛土工の現状



写真-1.11 十編組ハ横土盛土工



写真-2.7 ブロック積み仮復旧堰堤 前面



写真-2.8 ブロック積み仮復旧堰堤 背面



写真-2.15 道路直上斜面への土砂岩塊の堆積



写真-2.16 流路工沿いの被災状況



写真-2.17 砂防堰堤までの流過域



写真-2.18 砂防堰堤より下流域を望む

斜面对策の現況(令和2年9月21日)



写真-3.5 崩壊防止工での復旧状況



写真-3.6 隣接復旧箇所での脚部の崩壊



写真-6.5 崩壊防止工が実施されている現場



写真-6.6 溪流の床固工



写真-6.7 民家は見当たらない(写真-6.4 付近)



写真-6.8 地区解散が決定された集落跡